

賛助会員募集

日本スリランカ次世代育成サポートは、
より信頼性の高い**認定NPO法人の取得**を目指しています

認定NPO法人とは、「客観的な基準において高い公益性を持っている」と
所轄庁(都道府県または政令指定都市)によって判定された法人のことです。
個人及び法人が認定NPO法人等に寄附を行った場合は、税制上の優遇措置が適用されます。
認定NPO法人の取得には**100人以上の賛助会員が必要**です。
皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

賛助会員になるには

1 メールまたはFAXにてお申込み

<メール> 件名を「賛助会員申し込み」とし、申込書にある情報を
メール本文にご入力後、下記アドレスに送信ください。(情報を記入
した申込書の写真データ添付可)

メールアドレス: japan.srilanka.nges@gmail.com

<FAX> 同封している申込書にご記入後、以下の番号に送信を
お願いします。

FAX: 098-917-6144

※ご不明な点はお問い合わせください。

2 年会費を下記の口座へお振り込み

年会費

個人 3,000円/一口
法人及び団体 10,000円/一口
※何口でもお振り込み頂けます

◆ゆうちょ銀行

【記号】17060 【番号】21773261

【口座名義】特定非営利活動法人日本スリランカ次世代育成サポート

◆琉球銀行

【店番】201 【口座】普通 【口座番号】1286756

【口座名義】特定非営利活動法人日本スリランカ次世代育成サポート
理事 ディリープ・チャンドラール

役員のご紹介

<顧問> 稲嶺 恵一氏 (株式会社りゅうせき 参与/元沖縄県知事)

<理事> 名城 政一郎氏 (学校法人尚学学園 副理事長/沖縄尚学高等学校附属中学校 校長)

仲田 龍男氏 (オキコ株式会社 代表取締役会長)

星野 人史氏 (特定非営利活動法人珊瑚舎スコーレ 理事長)

藤田 佳久氏 (元那覇港管理組合 常勤副管理者)

柳澤 共榮氏 (元公益財団法人国際人材育成機構[略称:IM JAPAN]会長)

鳥光 宏氏 (有限会社BLK沖縄 代表取締役社長/駿台予備校 教員)

<監事> 川満 茂雄氏 (公益財団法人沖縄協会 理事)

ご寄付も 受け付けております

私たちの活動は皆様からのご協力によって支えられています。皆様の温かいご支援を
よろしくお願いいたします。

特典

300,000円以上の年会費をお支払いの賛助会員の方、または同額以上を寄付された方で、ご希望の方に「Kibou(きぼう) International College」正門の礎にお名前を刻印します。

随時 ボランティアスタッフ 募集中!

興味のある方はお気軽に
お問合せください

NPO法人 日本スリランカ次世代育成サポート

～ 多文化共生による平和な社会を目指して ～



日本スリランカ次世代育成サポート事務局

〒900-0004 沖縄県那覇市銘苅2丁目3番地1号なは市民協働プラザ2F
TEL:080-7721-9715 FAX:098-917-6144 Mail:japan.srilanka.nges@gmail.com



特定非営利活動法人

日本スリランカ次世代育成サポート
Japan & Sri Lanka Next-generation Edu Support

日本とスリランカから、世界へ。

日本スリランカ次世代育成サポートは、日本とスリランカを中心に次世代の育成を支援します。

他者と協働しながら創っていく平和な社会

スリランカから来日して37年が経ちました。大阪をはじめ、北は北海道から南は九州・沖縄まで全国の地域で出会った方々のおかげで、様々なかたちで様々なことを学ぶことができました。長年にわたる教育者としての経験を活かし、私が愛する日本、そしてスリランカへの恩返しとして日本スリランカ次世代育成サポートを立ち上げました。

多文化共生による平和な社会を目指し、本団体は多文化教育・啓発活動・異文化交流を行います。この活動を通して、日本とスリランカの若者を中心に、自国が抱える課題だけではなく、国境や文化の枠を超えて互いに協力し合い、国際的な課題の解決に取り組める意識と能力を持った次世代の育成を支援して参ります。

また、知識だけではなく生徒の心身や精神の成長を大事にする日本の教育をスリランカにも広めるべく、現地でのパートナーであるNGOブライトムーン・ファンデーションが管理運営する「Kibou(きぼう) International College」を支援し、多文化交流と未来への拠点として発展させながら、グローバルな視点で次世代の育成に繋げて参ります。



理事長
ディリープ・チャンドララル
(沖縄大学名誉教授)

1952年スリランカ生まれ。1983年国費留学生として来日。1992年神戸大学大学院文化科学研究科博士課程修了後、同大学院の研究科助手を務める。1998年沖縄大学に助教授として着任し、2002年同大学人文学部教授。副学長兼図書館長を歴任後、2018年名誉教授を授与される。

日本スリランカ次世代育成サポートの原点

2010年に発足した「沖縄スリランカ友好協会」は、沖縄とスリランカの相互発展と異文化・国境を越えて互いの伝統文化を尊重し、草の根レベルの活動を通して相互の国際交流・国際協力への関心を高めることを目指して活動してきました。



スリランカ命の水プロジェクト
水道施設完成式典(2015年)



伊江島とスリランカの交流会
～農業研修生を囲んで～(2017年)

日本スリランカ次世代育成サポートが取り組む課題

日本は多くの外国人就労者によって支えられており、彼らの文化と価値観を理解し共生することが求められています。スリランカでは大学入試偏重の画一的な授業が多く、人間力を養う体験的な教育プログラムを取り入れる必要があります。これらの問題に対して私たち日本スリランカ次世代育成サポートは、多様性を認め合い相互理解を深めるための人材育成の場と、交流の機会を創造するために行動します。

Vision

私たちが目指すもの

多文化共生による平和な社会

私たちは多様な人々がお互いの文化を理解し、尊重し、楽しむことで実現する豊かで平和な社会を目指します。

Mission

私たちの果たす使命

相手を尊重し、未来社会で活躍できる人材の育成を支援する

多文化の中で平和な社会を築くためには、相手を思いやれる想像力と、想いを形にしていく行動力が必要です。私たちは以下の3つの事業を通して、幅広い視点を持ち未来社会で活躍できる人材の育成を支援していきます。

国際教育支援事業

校舎



1号館



完成予想図

スリランカのデナガムワ村に建設中の「Kibou(きぼう) International College」*への支援を通して、地元への貢献もできる次世代のリーダーの育成を目指します。カリキュラムには体験学習や感動体験、キャリア形成などの実践的教育プログラムを組み込みます。スリランカで活動するNGO団体ブライトムーン・ファンデーションが学園の管理運営を行います。また、この学園を拠点とし、日本やスリランカの学生を対象とした短期留学などの異文化交流事業を実施します。

*スリランカで2021年1月に開校予定

多文化社会理解促進事業



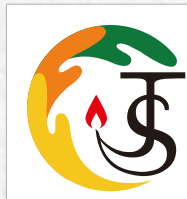
講演会やセミナー、ワークショップ等の開催を通して多文化社会への理解を促進する啓発活動を行います。

異文化交流事業



学生の短期留学や企業・団体の研修、ボランティア等を通して異文化交流を行います。

ロゴマークに込めた想い



国旗に使用されている赤と白、スリランカの国旗に使用されている黄色・橙・緑色を用いることで、両国の融和を表現しました。

アルファベットのJとSが形作る土台。そこに灯された火を異なる三つの手が大切に守っている様子を描きました。

このロゴマークには、「日本とスリランカが一つとなって教育という名の火を灯し、その火を多文化の中で永続的に守っていきたい」という私たちの想いを込めています。また、日本の

日本スリランカ
次世代育成サポートは
SDGsを支持しています



SDGsとは、2015年に国連加盟国193カ国が合意した2030年に向けた「持続可能な開発目標」です